



平成 23年 1月 10日 発行

(社)牛久市シルバー人材センター広報委員会

牛久市女化町859-3

電話029-871-1468

e-mail usiku@sjc.ne.jp

登録会員数：男 452名 女 142名 合計 594名 (11月末現在)



## 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、センターを取り巻くわが国の経済の現状を見てみますと、急激な円高による企業収益の圧迫、生産拠点の海外進出による雇用の悪化、更に、関税の撤廃を叫ばれる中、米穀生産農家を初めとする国内農業への影響の行方など、今後の成り行きが注目されます。

このような状況下において、当センターは平成 22 年度の上半期の事業実績で、昨年を上回る好成績を維持できたことは、大変に心強いことでもあります。

また、本年度の重点目標の推進についても、会員の増強運動の実施、地域貢献事業の推進、パトロールによる安全就業の徹底など、着実に執行されていることは、会員各位の努力の賜であり、その労を多とするものであります。

本年は新公益法人への移行作業の年であります。作業は鋭意進行中であり、節目ふしめに、その都度、ご報告いたしますが、会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

最後に、この新しい年はセンターにおいても、皆様のご家庭においても、卯年のウサギのように大きくジャンプアップし、平和で明るく笑顔あふれる年にしようではありませんか。

(理事長 鈴木伊平)

### 役員一同ご挨拶

事務局	監事	監事	理事	常務理事	副理事長	副理事長	理事長										
一	岩	池	植	宮	大	茂	菅	齊	山	菅	中	馬	武	神	根	正	鈴
	田	井	田	本	川	木	沢	藤	田	井	山	瀨	石	戸	岸	田	木
	勝	一		久	勝	善		次	由		俊	弘	よ	文	幹		伊
同	美	夫	裕	夫	男	次	純	彦	美	正	秀	志	しい	夫	和	品	平

# 理事会審議事項報告



## 平成 23 年度予算案提示(第 8 回理事会)

市へ提出する為の平成 23 年度予算案が提示された。収入においては昨年に引き、続き 60 万円の補助金カットがすでに決まっているが、これを配分金収入のアップでカバーしていく内容で、236,833 千円の予算とした。支出においては受託事業、独自事業等を含む事業費に 203,896 千円、管理費に 28,837 千円、予備費 2,000 千円、固定資産支出金 1,500 千円等を合わせ当期支出合計 236,833 千円とした。

## 新公益法人移行について(第 9 回理事会)

公益法人留意のポイントとして、総会及び理事会の権限、決議方法等の説明、又理事の義務と責任について、従来と比較し、はるかに重くなった内容の説明が行われた。又公益社団法人の申請手順、牛久市シルバーセンターとして当面すべきことの説明、今後の作業スケジュールについての大日程が示された。平成 23 年 1 月から 1 年間の途中で多くのやるべきことがあります。まず、新公益法人移行ワーキング・グループのメンバー決定、現役員の任期終了に当たり、新役員の人選及び決定、新定款作成、公益目的事業案及び諸規定案、申請書類作成、新方式に基づいた収支予算書内訳表作成など、これらをすべてクリアして初めて、公益法人認定の申請を行い、平成 24 年 4 月 2 日の登記完了を目指す。

## 会員就業規約改定について(第 9 回理事会)

最近、シルバー会員が就業中において、健康状態急変等、不測の事態が多発する傾向にあり、適正・

安全就業の対策として健康診断受診・自動車交通安全講習課程修了書受領等の義務化が重要且つ緊急事項として提案され、今後、就業規定の中で規約化していくことを決定。

## 互助会設置案審議(第 9 回理事会)

新公益法人への移行する際、センター本体の中に互助会を設置することが困難になった。(認定法第 5 条による)。これは別途、今号のシルバーだより(4 頁)で詳しく説明してあるが、要は新法では公益事業の枠組みの中に、互助会を設置することが出来ない仕組みとなっている。この為、互助会設置委員会の活動は一時中断する事となったが、設置の必要性を考えると、新制度の中で、どの様に位置付けて検討していくかが今後の課題となろう。

## 平成 23 年度役員改定について(第 9 回理事会)

2 月の理事会で新役員の人選を決定、3 月の総会は、新役員で新公益法人に望むことの了解を得、3 月から 5 月の間はこの新役員が理事会を運営していくこととなる。5 月の総会において、あらたに、この新役員の承認を得、新公益法人に向けての理事会体制がスタートする。

## 地域貢献事業実施報告(第 9 回理事会)

幼稚園のペンキ塗り作業、感謝の念を持って受け入れられた。今後さらに、幼稚園、保育園の巡回奉仕を続けていく。公立、私立を問わず、双方に奉仕をする。また将来は小学校へも奉仕の輪を拡げて行きたい。

# 専門委員会活動報告

平成 22 年 9 月～11 月



## 総務委員会

1. センターの旅行会が2年ぶりに開催された。日帰り旅行ではあったが、楽しい一日を過ごした。旅行委員の皆様ご苦労さまでした。詳しくは、「楽しかったシルバー日帰り研修旅行」をご覧ください。
2. 来年度発足予定の互助会の件ですが、新公益法人移行との関係もあり、全体像が大きく見直される可能性が出てきたため、当分の間検討中断、経緯を見守る。

## 事業委員会

- 会員増強運動の実施。
1. 茨城県シルバー人材センター連合会の会員増強キャンペーンに呼応、10 月 19 日朝、牛久駅頭にて全理事による会員募集チラシの配布を実施。
  2. 「広報うしく」12 月 1 日号に、会員募集チラシを折込み市内全世帯に配布。昨年も、12 月 1 日号に折込みを実施し、1 月に、15 名の新規会員の入会あり。今年も成果を期待。

## 安全委員会

1. 自転車交通安全講習会実施。  
11 月 29 日(月)於:労働金庫・会議室。
2. 第 2 回安全就労パトロール実施。  
鈴木理事長安全就労パトロールに参加。
3. 「ヒヤリ・ハット」アンケート集計完了。  
アンケート対象:会員全員(580 名)回答者数:32 名  
回収率:5.5%でした。ご協力ありがとうございました。

## 広報委員会

1. 牛久市駅頭にて AM6:30 よりシルバーセンター。「会員募集」チラシ 1000 部を配布。
2. シルバーだより第 44 号・秋号発行  
発行部数:600 部 発行先:シルバー会員、市役所、商工会、近隣各 SC、受注先。
3. シルバーセンター会員募集チラシを「広報うしく」2010.12.01 号に折込み、全戸に配布。
4. シルバーだより第 45 号・新年号の制作開始。



# 安全委員会だより



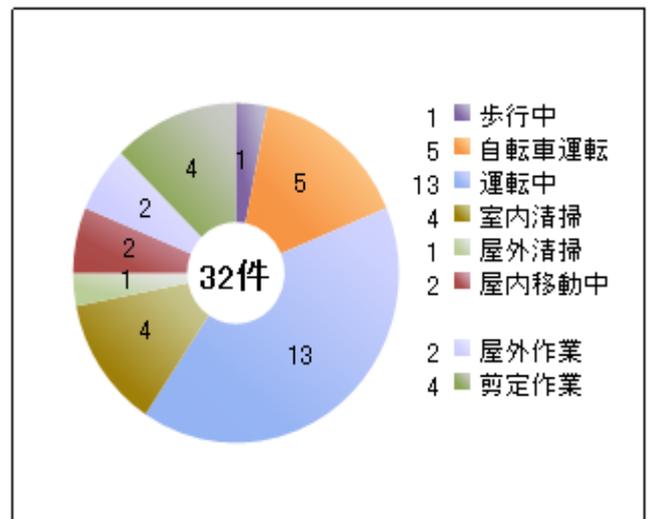
## 「ヒヤリ・ハット運動 アンケート報告」

安全委員会ではこの度、就業災害「0」を目指して、「ヒヤリ・ハット運動」を展開して来ました。10月末現在のアンケート回収率は5.5パーセント、それ以後の回答はありませんでした。この結果はあまり聞き慣れない「ヒヤリ・ハット」という言葉ではないかと思いますが、安全委員会では、この回答を頂いたいただけにとどまらず、会員の安全を守るために、今後も、活動を続けてまいりますので、ご協力宜しくお願い致します。今回、アンケートの回答に、ご協力頂いた会員の方々には、あらためて、お礼申し上げます。主な「ヒヤリ・ハット」アンケートの結果を下記の通りご紹介致しますので、ご覧ください。またアンケートによるヒヤリハットの行動別発生状況はグラフのとおりとなりました。

### ヒヤリハットアンケートの具体例

◎どこで	◎何をして いる時	◎何がどうした	◎改善すべき事 項
一般道路	運転中	前方に停車中の車の前からボールが転がりその後子供が急に飛び出して来た。	「…だろー運転」やめて、「…かも知れない運転」を心がける。
現場	植物に水をやっている時	ゴムホースが絡んでそれにつまずき、転びそうになった。	ゴムホースの状態を常に気にかけて、絡んでいたらすぐ直す
建物内	清掃中	廊下を歩行中角でぶつかりそうになった。	誰が来るか分からないから決して急いで歩かない

### ヒヤリハット発生状況 アンケート集計結果



## 牛久市シルバー人材センター事故状況

(平成22年4月～11月までの状況)

事故の型	事故の内容	死亡	入院	賠償	H22実績
剪定・除草作業事故	植木・樹木の剪定作業中転落・事故	0	0	0	0
	除草作業中の事故	0	0	1	1
	脚立等を使用し清掃等で転落・事故	0	0	0	0
	剪定カンバンにて指裂傷	0	0	1	1
交通事故	自動車に追突・衝突される	0	0	1	1
	車の接触事故	0	0	0	0
機械作業関連事故	巻き込まれ、下敷き・崩壊	0	0	0	0
その他	休憩中の事故	0	0	0	0
	ピン蓋あけ手が滑り7針縫合	0	0	1	1
合計		0	0	4	4

事故件数は就業途上事故も含む、実績合計に通院は含まない

## 自転車交通安全講習会の報告

11月29日(木) 午前 10:30 牛久・労金会議室

牛久市役所交通防災課 交通安全強化員を講師に招き、牛久市シルバー人材センター会員 11名、安全委員 4名が参加して自転車交通安全講習会が開催された。ポイントは「自転車も車両として取り扱われる。安全のためには歩道を走っても良いが、その際は歩行者に充分気を配ること」ということ。受講生の皆さんはクイズ形式での講義に笑いを誘われ、講師のベテランさが伺えた講習会であった。



# 互助会設置案の現状報告

去年5月の総会にて、互助会を設置するため準備を進めていく案が可決され、設置準備委員会が発足しました。現在までの間、互助会会則案等、設置に関する重要事項がいろいろ検討されてきました。今後更に、内容を練り上げ、事前の審議を十分尽くし、全員が納得のいく互助会の設置を目指し、不備な会則・不公正な会則のまま発効させてはならないと委員全員が鋭意努力している段階でした。

一方、このような状況において、国の全国社団・財団法人の根本的改革が進行し、新公益法人に関する法律の制定、これに伴う全国シルバーセンターの、新公益法人移行の準備が着々と進められている状況でした。このことは、既にシルバーだよりでも何回か、お知らせとして、記事に取り上げ、皆様に報道されてきました。

この問題に関して、このたび11月29日に行われた茨城県シルバー人材センター連合会の研修会にて、最新の統一見解が発表され、その中にシルバー人材センターにおける、互助会・親睦会を含む補助団体の取扱いが明らかにされました。

この内容は各シルバーセンターの補助団体の存亡にかかわる重要な内容が含まれていました。概要は以下のとおりです。

- a. 新公益法人制度の中に互助会は設置しない事
- b. 三鷹シルバー人材センター(先発移行申請認定済み SC)の事例は新公益法人本体の中には入れていない、会員の会費のみで自主運営する任意団体として全く別個に存在させた。

c. 11月29日、県連主催の公益法人移行の説明会でも同様の取扱いとし処理する事で説明があった。理由は①監査が厳しい中、何かと疑義を抱かれるような補助団体は置かない。②新法では公益事業の枠組み(収支決算報告の枠組み)のなかに補助団体を組み入れる項目はない。③本体の査定の段階で補助団体は重点的にチェックされ、削減対象とみなされる。

以上のことを考慮して、当シルバーセンター互助会設置委員会は公益法人移行の状況を静観し、互助会設置活動は中断するという事で決定致しました。



## 楽しかったシルバー日帰り研修親睦旅行

### のこぎりやまの展望と新鮮な海の幸ショッピング

旅行委員長 大川勝男

10月22日(金)シルバー日帰り研修親睦バス旅行は39名(男性22名、女性17名)の参加をいただいて千葉・房総「鋸山の展望と新鮮な海の幸ショッピング」の旅を実施しました。当日は若干、曇りの模様でしたが雨の心配はなく、牛久市生涯学習センターを7時30分、元気に出発。早速バス車内には飲物・おつまみ等が配られ、アルコールも手伝ってか、どの顔も明るく、話が弾み、あっという間に最初の見学地「鋸山の日本寺」に到着しました。

日本寺は鋸山のほとんどが境内で、5つのエリアに分かれており、中腹エリアの見学と考えていましたが、全員が山頂エリアをトライされ、階段が多い中、山頂までのコースを登りきりました。東京湾を一望できる展望台から見る景観の素晴らしさは疲れも忘れさせてくれました。すっかりお腹もすいたところで、ロケーションが素晴らしいレストラン「ザ・フィッシュ」で「潮騒御膳」をいただき、新鮮な海の幸を堪能しました。続いて南房総最大級の観光施設「道楽園」ではサザエ・サンマのつかみどり体験をしましたが、さんまを10匹、つかみどりできた方がいらっしゃいました。又、海の幸ショッピングも十分に楽しむことができました。

そして、最後の見学地、東京湾の真ん中に浮かぶ人工島「海ぼたる」で東京湾展望とショッピングも楽しむことが

できました。今回は「日帰り旅行」のためバス車内を如何に楽しく過ごしていただくか、色々のお楽しみを企画しました。綾小路きみまろの「漫談ビデオ」を流し、車内は笑いの渦、又、賞品を用意した「ビンゴゲーム」に一喜一憂したり、更にはカラオケも楽しんだり「思い出」をいっぱいインプットし帰路につきました。今回の旅行を通してシルバー会員の更なる「親睦と交流」が図れたかと思っております。皆様のご協力により怪我もなく無事に日帰りバスツアーが終了することができまして大変感謝いたしております。本当にありがとうございました。



# 会員の声

## 「前半8万時間、後半8万時間」

前半のビジネスマンの労働時間が8万時間、後半の自由時間は8万時間ある。この後半へのリセットへの取り組みは「好きなことを縁のある地域密着型で行う事としよう!」との思いから始まりました。30代から皐月の盆栽などを少々やっていた事もあり、専門校の造園課程を修了後、直ちに当シルバーの植木剪定班に所属し、現在はグループの皆さんと牛久の家々の庭木の手入れをしております。

作業後にお客様から「お願いして良かった、きれいになった!」の言葉からは夏の猛暑、冬の寒風を忘れさせる以上のものを頂いております。また、20年6月に師匠である今野さんと相談し、そば打ちの会「銀そば会」を立ち上げました。今野会長とメンバーは、シルバーとして対外的な奉仕活動も視野に入れて行きたいとの考えを共有し、特訓で腕を磨いている最中です。

会のコンセプトは「地産地消、地奉地楽」としました。即ち「地元の産物を美味しく食べ、地元への奉仕も仲間達と楽しく活動していく」との意味が込められています。さらに、シルバー内の活動としては、同じ剪定班で手先の器用な松井さんと、竹細工・木の



実細工の「とんぼの会」を結成し、牛久市内で定期開催される「ゴッタ市・エコフェスタ・みんなの広場 in クリーンセンター」等の各イベントで、人気の高い「家具再生グループ」の4人の皆さんの協力を頂いて、そのブースにて格安での展示販売と、お子様方に「トングリ人形」のマンツーマンでの無料工作指導を行っています。なんと、この一年間で累計320人のお子さん達から、可愛い歓声と笑顔、一人一人から頂戴することになりました!

中央の写真は、「銀そば会」の道場での特訓風景と、先だって根岸さんから、何か牛久らしらさを題材にしたものは出来ないでしょうか?の一言をヒントに作った「ほのぼのカッパ!」です。おかげ様で、事務局のご理解とバックアップもあり、今や「シルバーのヒゲおじさん(実は3人の孫がいるオジイちゃんです)」としては、前半とは異なる新次元での「遣り甲斐」を感じている次第です。以上、これも元気なうちだと、我がシルバーセンターを基地として、あれこれと楽しんでいるお話をさせて頂きました。

会員NO.1197 鳥居 正昭

## フォト歳時記



撮影日: 2008.01.28 撮影場所: 北海道 鶴居村

「丹頂(タンチョウ)は、国の特別天然記念物に、また、絶滅危惧種Ⅱ類」にも指定され、手厚い保護によって何とか1000羽を超す数に戻ってきました。しかし「種の保存」として、まだ油断できない状態です。英名では Japanese crane(日本の鶴)と云い、タンチョウツルとは言いません。初めて見た丹頂と、どう向き合おうかと考え。How do you do?の精神でカメラを向けていると向こうから寄ってきてくれました。

写真・文とも 会員NO.796 加藤元廣



## 俳句

せかせかと走る蟻らや 試歩の道  
風前の灯火 道の 枯蟻螂  
—井上梅太—

## 川柳

秋なくて 日本商い 冷え込んで  
友逝きてうまい死に方 やってみせ  
Vアースやらない替わりに 黄砂やる  
漁船<sup>フネ</sup>当たり 消したいビデオ 黄砂降り・・・  
TPP 行くと思えど 足かせが  
スーチーさん 軍事政府の 手の上で  
保安官の 大岡裁き 出来るのか  
まだらボケ 間違った事 押しとうす  
バスイク シルバーパー 衰えず  
—クボハゼ—

早まるな 死期は必ず やってくる  
年老いて 金の苦勞を する地獄  
—井上梅太—

## 短歌

窓越しに 病み臥す我をのぞき込み  
微笑くるる 中天の月  
仲間らと 和気あいあい 道端のゴミを  
拾いし日日が懐かし  
—井上梅太—

## 狂歌

尖閣の 映像流れ 事実知り 中国デモが  
ピ列と止まり  
白鵬の 連勝止めた 心意気 稀勢のその後の  
相撲が変わり  
日米の 落ち目の二人 顔合わせ 沖縄基地は  
ツとさわらず  
政府の 己政策 仕分けして 何をやってる  
一年足らずが  
大臣の 国会答弁 二つですむと  
得意満面 はしゃぎ過ぎ  
みかん狩り 小春日和に さそわれて  
今年も暖冬 そのうちバカ  
知事選で 沖縄基地は 県外に  
政府困った このままほっとく  
—クボハゼ—

## センター賛歌 相撲甚句

アー ドスコイ ドスコイ  
ア-ア-ア-エー 牛久センターを甚句に詠めばよー  
ア-ア-ア ともに働き助け合う  
これがわれらの合言葉  
真心こめたるこの技が  
我が住む町に冴え渡り  
元気で働く喜びと  
感謝の言葉を頂いて  
明日への希望が湧いて来る  
明るく住みよい町づくり  
—翼担う心意気  
働く我らに ヨーホホイ  
ア-ア-ア 栄えあれと  
ア- ドスコイ ドスコイ

詞文：鈴木伊平

## ● 事務局だより ●



新年明けましておめでとうございます。  
本年も健康第一・安全就業で皆さんにとってより良  
い年となりますよう事務局一同心よりお祈り申し  
上げます。  
本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

### 皆さん、日頃の健康チェックどうされていますか？

“元気元気”と思っけていても、時として病気が潜んでい  
ることがあります。

いつまでも元気に、お仕事や遊びを楽しむために、健康  
診断等の定期検診を積極的に受診して下さい。無理な就  
業はやめ、早めの対処で悪化を防ぎましょう。また、朝晩  
の冷え込み、屋内外・風呂場と脱衣所など急激な温度変  
化は血圧や血管の収縮に大きく影響します。早め早めの  
対処で元気に過ごしましょう。

### 後日、下記の調査表を送付致します

- ①緊急連絡先の再調査表
- ②健康チェックリスト・かかりつけ医の申告
- ③健康診断書の提出(1年以内に受診された方のみ)

後日発送を予定しています。

- ①は記入する方への了承を得て頂く必要があります。
- ②は病院名・電話番号を記載していただきます。
- ③は診断結果を提出していただきます。

就業先によっては、健康診断書の提出が求められるとこ  
ろも出ていますので、できる限り1年に1回受診して下  
さい。